



2024年10月17日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 オ キ サ イ ド  
代 表 者 名 代表取締役社長(COO 兼 CFO) 山 本 正 幸  
(コード番号：6521 東証グロース)  
問 合 せ 先 総合企画本部マネージャー 石 坂 美 保  
(TEL. 0551-26-0022)

### 2025年2月期第2四半期 決算説明会の質疑応答（要旨）について

当社は、昨日決算説明会（アナリスト・機関投資家向け）を開催いたしました。ご出席の皆様からいただいた主なご質問を以下にまとめております。なお、理解促進のため、一部加筆修正を行い要旨として記載をしております。

- Q. 研究開発費が5,200万円減少したことで、今後の事業成長に影響はないのでしょうか。オキサイドはかねてから、短期的な損益と長期的な成長のバランスを重視していると理解しているが、長期的成長を諦めていないか教えてください。
- A. 第2四半期での研究開発費減少の理由は、主に研究者の労務費の製造原価への振替になります。研究者が製造現場へ一時的に応援に回ったことによって、製造原価に計上されています。本件のような研究開発費の減少は一時的であり、中期経営目標への影響はございません。

- Q. 為替差益 1 億 8,400 万円計上の開示がありました。営業利益黒字転換の主要因はこの為替差益が貢献したものでしょうか。
- A. 本為替差益は海外子会社へのグループ内貸付金に対する評価替えによるものであり、営業外収益として計上しております。営業利益黒字転換とは関連がございません。

## 2025年2月期 第2四半期実績

OXIDE

- 売上高は、予想19億6,800万円対比4,200万円増の20億1,000万円となりました。
- 営業利益は、予想800万円対比100万円増の900万円となり、前々期4Q以来の黒字転換となりました。

(百万円)	FY25/2月期 1Q			FY25/2月期 2Q			FY25/2月期 上半期			通期
	予想	実績	増減	予想	実績	増減	予想	実績	増減	予想
売上高	1,514	1,388	▲ 126	1,968	2,010	42	3,482	3,398	▲ 84	8,553
営業利益	▲ 270	▲ 406	▲ 135	8	9	1	▲ 262	▲ 396	▲ 133	202
(営業利益率)	▲17.8%	▲29.3%	-	0.4%	0.5%	-	▲7.5%	▲11.7%	-	2.4%
研究開発費	354	315	▲ 38	363	311	▲ 52	718	627	▲ 91	1,469
設備投資額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,464
EBITDA※	▲ 16	▲ 144	▲ 128	268	280	12	252	136	▲ 116	1,259
(EBITDA マージン※)	▲1.1%	▲10.4%	-	13.6%	14.0%	-	7.3%	4.0%	-	14.7%

※ EBITDA：営業利益に償却費（減価償却費・のれん償却等を含む）を加えた数値

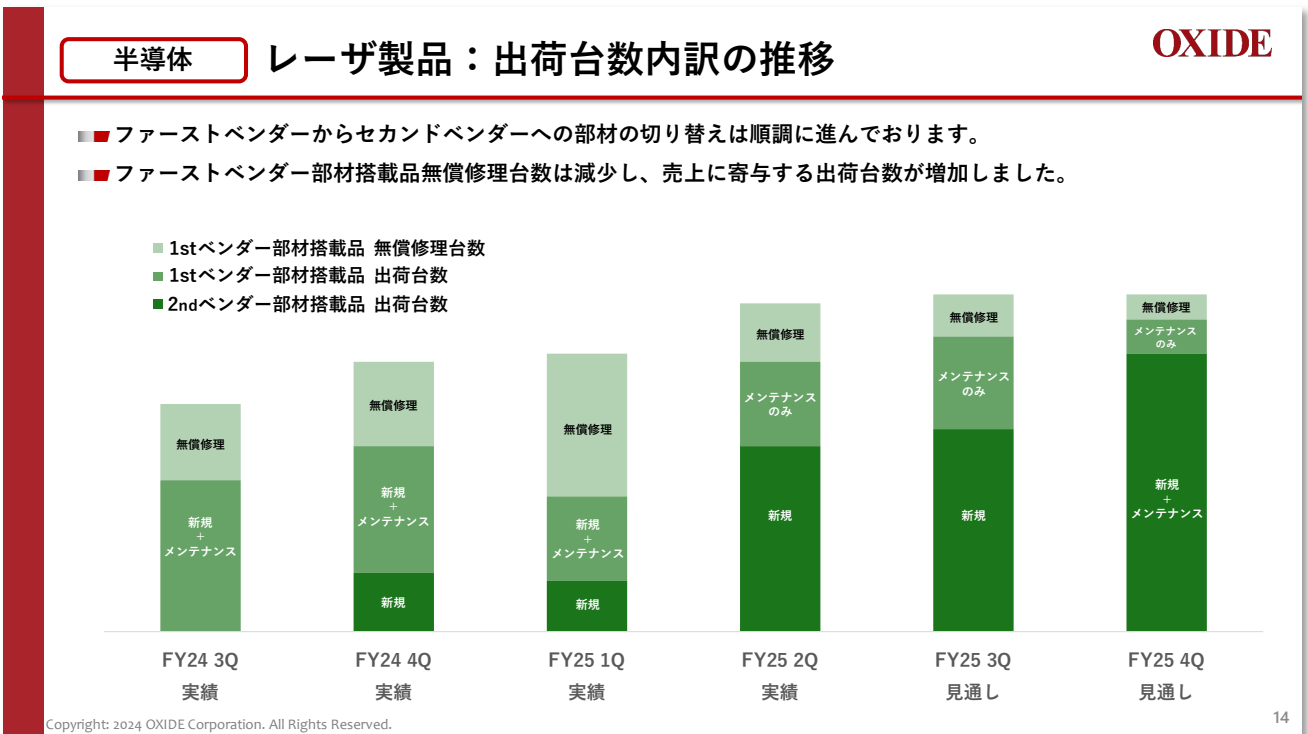
Q. 第4工場2期工事完了のプレスリリースを拝見しました。今後は、製造キャパシティが増えて、レーザ製品の出荷台数が伸びるのではないのでしょうか。また、セカンドベンダー部材は十分に確保ができていますのでしょうか。

A. 第4工場2期工事完了し、製造キャパシティが拡大しました。今後は、計画的な新規出荷に加えて、既に出荷したレーザ製品のメンテナンスが随時増加します。

また、第4工場2期工事が完了しましたので、メンテナンス対応の横浜事業所から第4工場への移管を本格化します。これにより、横浜事業所でのスペースが確保でき、既に受注している次機種開発の加速が期待されます。

第2四半期からレーザ製品新規出荷分はセカンドベンダー部材に完全に置き換わりました。

セカンドベンダー部材については、必要な数量が十分に確保できる状況になりました。歩留りも100%で安定に推移しております。



- Q. SiC 事業についてお聞きします。以前の開示情報で SiC ウエハのサンプルが 2024 年夏の出荷開始とあったが、遅れているのでしょうか。
- A. 特定の企業名については守秘義務がありお答えができませんが、既に本年夏にサンプル出荷を行っています。定常的なサンプル出荷については、今期中を予定しています。

新領域

SiC 事業の進捗

OXIDE

■ 溶液法SiCウエハの量産開発は、着実に進捗しています

開示内容

2024年4月	グリーンイノベーション基金ステージゲート通過
2024年9月	ICSCRM2024出展 ・ 6インチSiCウエハ展示 ・ 8インチSiC単結晶インゴット展示
2024年10月	株式会社オキサイドパワークリスタル設立 ・ 10月18日 会社設立(予定) ・ 12月1日 事業開始(予定)
2024年10月	株式会社JSファンダリとの業務提携



8インチSiC単結晶インゴット

Copyright: 2024 OXIDE Corporation. All Rights Reserved. 10

- Q. 半導体事業において、今期上半期のメンテナンス売上高実績と下半期の見通しを教えてください。また、来期以降の見通しについて教えてください。
- A. 今期上半期のメンテナンス売上高実績は、約 2 億 5,000 万円弱です。下半期はメンテナンス売上高が増加し、通期では当初予想並みを見込んでおります。メンテナンスは出荷後 1-2 年後の対応を見込んでおります。現在までのレーザ製品累積出荷台数は 200 台を超えており、来期以降の増加が見込まれます。
- Q. ヘルスケア事業において、中国市場の減速による従来顧客の在庫調整はどういった状況でしょうか。また、新規顧客獲得については、既に評価期間が完了し本格量産になったと考えてよいのでしょうか。
- A. 中国市場は従来から大きな変化はないと伺っておりますが、従来顧客の在庫調整はほぼ完了局面と見ております。新規顧客については、今期中からの本格的な量産を見込んでおります。

- Q. 新領域事業において、子会社オキサイドパワークリスタル設立と JS ファンダリ社との業務提携について、それぞれ狙いを教えて下さい。
- A. 子会社設立について、量産技術開発を更に加速させると共に、資金調達の柔軟性を高める狙いがあります。  
JS ファンダリ社は国内発の独立系ファンダリ企業として加工やエピにおける豊富な知見を有しており、当社は製造バリューチェーン構築の為の重要なパートナーと考えております。
- Q. 半導体事業における部材不具合問題について、ファーストベンダーでの不具合の原因究明はできたのでしょうか。原因不明のままセカンドベンダーへ移行したのでしょうか。
- A. 当社は、ファーストベンダー部材の不具合を解析し、原因となる物理現象を解明しました。その解析結果に基づいて、不具合が発生しない部材をセカンドベンダーと共同で開発しました。セカンドベンダー部材へ完全移行し、不具合問題は解決しております。
- Q. Raicol 社について、昨年 10 月のイスラエル紛争開始後、従業員 100 人程度のうち 15 人が予備役として召集されたと記憶していますが、現状はどうでしょうか。
- A. 現在、予備役へ召集されている Raicol 社従業員はおりません。現時点で、Raicol 社の建屋・製造拠点・研究開発設備・従業員等への直接的な被害はなく、従来通り事業活動を継続しています。人の行き来については、イスラエルから東京間の直行便は運航を続けており、Raicol 社からオキサイドには定期的に出張者があります。今期上半期では、Raicol 社からオキサイドには、のべ 5 名が合計で 40 日以上滞在しており、共同での研究開発等を進めています。また、サプライチェーンの安定化のため、両社間の主力製品の製造一部の移管を進めています。
- Q. 半導体事業の受注高について、第 2 四半期は約 9 億円弱かと思われませんが、この受注高水準をどうお考えでしょうか。また、第 3 四半期以降の見通しについて教えて下さい。
- A. 受注高に関しては、毎月定常的な金額を受注する訳ではございません。そのため当社では半期(半年)期間での受注高を継続的にモニターしております。上半期での 28 億 5,100 万円の受注高については、堅調な実績と考えております。下半期につきましては、当社の主要顧客からは、現時点では従来通りの需要動向から大きな変化は無いと伺っております。
- Q. 半導体事業におけるセカンドベンダー生産キャパシティについて、下半期も拡大傾向が継続するのでしょうか。また、歩留まりは 100%を継続しているのでしょうか。
- A. セカンドベンダーへは当社の生産計画を共有し、それに見合った数量の確保が可能であることを確認しております。セカンドベンダーにおいては高品質な部材を確保できており、製造キャパシティ増加後も歩留まり 100%を継続しております。

- Q. イスラエル情勢の不透明感が増す中で、連結通期業績予想は変更なしの理解です。中身としては事業毎若干の変更があるのか、もしくは新領域事業単体でも Raicol 社落ち込みを挽回する目途があるのか、見通しを教えてください。
- A. 皆様もご存じの通り、イスラエル情勢は不透明感を増しています。予測は困難ですが、当社としては保守的な見通しを立てることが妥当と考えております。連結通期業績見通しとしては、新領域事業における Raicol 社での落ち込みを、半導体事業とヘルスケア事業にてカバーできると見込んでおります。

以上